Pioneer

屋内用

APS-WF02（ワイヤレスユニット）シリーズ

取扱説明書

<ORC8129-A>

このたびは、パイオニア製 APS-WF02 をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」および「電波に関するご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」および「セットアップガイド」（別紙）は、「保証書」（本書に記載）と一緒に必ず保管してください。

■ 本機は、日本国内専用モデルですので、日本国外での本機の保守・修理などのサポートは行っておりません。本書に記載されている内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ 本書および「セットアップガイド」に記載されている会社名、製品名およびシステム名は各社の登録商標ですが、TM、® マークは明記しておりません。

■ 本機は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外(たとえば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用)で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

本機の概要と本取扱説明書についてのご注意

本機（ワイヤレスユニット）に USB 機器を接続することで、iPhone や iPad、Windows タブレットや Windows PC および Mac からワイヤレスで USB 機器をご使用できます。ワイヤレスユニットの説明およびセットアップ方法に関しましては、セットアップガイドを合わせてご覧ください。

仕様（ワイヤレスユニット）

[WLAN]

ARIB標準規格	ARIB T66、ARIB T71
ワイヤレス準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n
変調方式	MIMO-OFDM/OFDM/DSSS
セキュリティ	WEP(ステーションモード時のみ)/WPA/WPA2
ネットワークセットアップ	かんたん接続方式（ステーションモード時のみ）
仕様周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz
[性能]	
想定性能到達距離	10 m
データ転送速度	54 Mbps以上（300 Mbps規格時）
ワイヤレス時の記録再生速度	1.5 x相当（BD）
動作モード	アクセスポイントモード（AP）、 ステーションモード（ST）
対応OS	iOS7.1以降 Windows 8、Windows 7 、Windows Vista Mac OS X 10.6/10.7/10.8/10.9（10.9.4まで）
[その他]	
DC電源入力	定格DC+15 V 2.7 A（最大）
消費電力	最大40 W
待機時消費電力	0.4 W
各USB端子定格	1 A
外形寸法（幅×奥行×高さ）	198 mm × 149 mm × 33 mm
質量	440 g
動作温度	+5 ℃ ～ +35 ℃
動作湿度	5 % ～ 85 % (結露のないこと)

※ ハイレゾ再生および記録再生速度は、コンピューターに搭載される無線 LAN 性能によって制限されます。

[USB ワイヤレス接続の推奨環境]

ハイレゾ再生時（iPhone/iPad/Windows/Mac）

動作モード	アクセスポイントモード
ワイヤレス LAN 設定	IEEE802.11a/b/g/n(2.4 GHz/5 GHz) 150 Mbps(理論値)モード
オーディオバッファ	ENABLE(初期設定)
オーディオバッファ量	2000 ms（iPhone/iPad 時）、 500 ms（Windows/Mac 時初期値）

※ ハイレゾ音源をワイヤレスで再生する為には、APS-DA101 シリーズ（USB DAC AMP)が必要です（別売)。また、APS − DA101 シリーズ で iPhone/iPad からハイレゾ音源をワイヤレスで再生可能な「Wireless Hi-Res Player Stellanova」を App ストアからダウンロードしてご使用ください。

Blu-ray ディスク再生時（Windows/Mac）

54 Mbps 以上のデータ転送速度を必要とします。

動作モード	アクセスポイントモード
ワイヤレス LAN 設定	IEEE802.11a/b/g/n(2.4 GHz/5 GHz) MIMO で 300 Mbps(理論値)モード
USB ドライバー	パイオニアワイヤレス対応高速 USB ドライバー使用

※無線環境により、IEEE802.11a/n (5 GHz)をお勧めします。

DVD ディスク再生時（Windows/Mac）

10 Mbps 以上のデータ転送速度を必要とします。

動作モード	アクセスポイントモード / ステーションモード
ワイヤレス LAN 設定	IEEE802.11a/b/g/n(2.4 GHz/5 GHz) 150 Mbps(理論値)モード
USB ドライバー	パイオニアワイヤレス対応高速 USB ドライバー使用

＊ 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

仕様（AC アダプター）

電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz、79 VA
定格出力	DC+15 V、2.7 A（最大）
無負荷消費電力	最大0.3 W
外形寸法（幅×奥行×高さ）	50 mm × 80 .6 mm × 31 mm
質量	156 g
動作温度	+5 ℃ ～ +35 ℃
動作湿度	5 % ～ 85 % (結露のないこと)

＊ 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

！注意　本機付属の電源コードは専用品です。他の電源コードは使用しないでください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

電波に関するご注意

電波に関するご注意

本機は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。

以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4 GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、すべての無線 LAN 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様のネットワーク接続環境、接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。プロバイダーまたは各接続機器のメーカーにお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は、日本国内のみで使用できます。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または本機の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他、お困りのことが起きたときは、パイオニアカスタマーサポートセンター（取扱説明書記載）にお問い合わせください。

2.4 GHz 無線 LAN 表記の意味について

2.4 DS/OF 4

- [2.4]　：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表す
- [DS/OF]：変調方式 DS-SS 方式 /OFDM 方式を表す
- [4]　：想定干渉距離が 40 m 以下であることを表す
- [− − −]：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表す

5 GHz 帯の W52/W53 は、無線 LAN および電波法の規制により野外では使用できません。

使用周波数帯とチャネル番号に関するご注意

使用できるチャネルは動作モードによって異なります。

アクセスポイントモード時	W52 および 1 ch ～ 13 ch
ステーションモード時	W52/W53/W56 および 1 ch ～ 13 ch

また、W52/W53/W56 のチャネルと中心周波数は以下となります。

W52	36 ch(5180 MHz)、40 ch(5200 MHz)、44 ch(5220 MHz)、48 ch（5240 MHz）
W53	52 ch(5260 MHz)、56 ch(5280 MHz)、60 ch(5300 MHz)、64 ch（5320 MHz）
W56	100 ch（5500 MHz）、104 ch（5520 MHz）、108 ch（5540 MHz）、112 ch（5560 MHz）、116 ch（5580 MHz）、120 ch（5600 MHz）、124 ch（5620 MHz）、128 ch（5640 MHz）、132 ch（5660 MHz）、136 ch（5680 MHz）、140 ch（5700 MHz）

安全上のご注意

● 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

● ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

禁止

〔設置〕

着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：

付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないで下さい。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

注意

〔設置〕

- 製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセント近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

〔異常時の処置〕

プラグを抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに USB ケーブルを本機から、AC アダプターの電源プラグをコンセントからそれぞれ抜いてください。煙が出なくなるのを確認し、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

プラグを抜け

- 万一、内部に水や異物等が入った場合は、USB ケーブルを本機から、AC アダプターの電源プラグをコンセントからそれぞれ抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

プラグを抜け

- 万一、本機を落としたり、カバーを破損した場合は、USB ケーブルを本機から、AC アダプターの電源プラグをコンセントからそれぞれ抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

〔本機の使用環境について〕

- 本機の使用環境温度範囲は 5 ℃～ 35 ℃、使用環境湿度は 85 % 以下です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_A1_Ja

⚠ 警告

禁止

- 本機に水が入ったり、濡れたりしないようにご注意ください。湿気の多い場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

禁止

〔設　置〕

- 放熱を良くするために、他の機器や壁との間隔をとってください。ラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方をしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
・あおむけにする。
・じゅうたんやふとんの上に置く。
・風通しの悪い狭いところに押し込む。
・テーブルクロスなどをかける。

禁止

- 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

禁止

- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

〔使用方法〕

- 動作中に、衝撃や振動を加えたり、USB ケーブルや AC アダプターの電源プラグを抜いたり差したりしないでください。

禁止

- ブルーレイドライブなどと接続しているとき、動作中に本機を動かしたり、持ち上げたりしないでください。ディスクは高速で回転していますので、本機を持ち上げたり、移動したりすると、ディスクが傷つきます。移動するときは、ディスクを取り出し、電源を切ってから行ってください。

安全上のご注意

⚠ 警告

本機対応の AC アダプターおよび電源コードをお使いになる場合は、以下をお守りください。

禁止

- 電源コード、AC アダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

注意

- 万一の場合に、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

プラグを抜け

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

- 電源コード、AC アダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出や断線など）販売店に交換をご依頼ください。

禁止

- 付属の AC アダプターおよび電源コードは本機専用です。絶対に他の機器に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

- AC アダプターおよび電源コードは、乳幼児の手が届く所に置かないでください。AC アダプターのコードが誤って首に巻きついた場合、窒息する恐れがあります。

禁止

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

- 本機を船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災や感電の原因となります。

禁止

- 本機対応の AC アダプターおよび電源コード以外は使用しないでください。他の AC アダプターおよび電源コードを使用すると火災の原因になります。

禁止

- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜け

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

禁止

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

禁止

- AC アダプターおよび電源コードを水滴がかかる場所に置かないでください。

プラグを抜け

- 製品はコンセントの近くで、電源プラグ /AC アダプター（遮断装置）に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

⚠ 警告

禁止

- 本機の隙間などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

禁止

- 本機や AC アダプターのカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検や整備、修理は販売店にご依頼ください。

本機は精密機器のため、
分解が必要の際には必ず
販売店に依頼してください。

禁止

- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

- 本ワイヤレスユニットの上には、APS-DA101 シリーズ（USB DAC AMP）以外のものを置かないでください。故障の原因になったり、バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

禁止

- ブルーレイドライブなどと接続しているとき、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となることがあります。

禁止

- 本機に二股 USB ケーブルを使用しないでください。故障の原因となることがあります。

禁止

- 本機の電源がオン状態の時は、本機や AC アダプターに布やシートを被せて使用しないでください。

⚠ 注意

注意

- 冬季などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露が起こったら（結露の程度にもよりますが）、USB ケーブルを本機から、AC アダプターの電源プラグをコンセントからそれぞれ抜いた状態でしばらく放置し、完全に本機が乾燥するまで待ってから電源を入れてください。結露は夏にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には設置場所を変えてください。

注意

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

注意

- 小さな部品はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご連絡ください。

この製品をご使用の際は、製品底面およびACアダプターのラベルに表示している安全に関する情報をご確認ください。

D3-4-2-2-4_B1_Ja

⚠ 注意

注意

〔設置〕

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

注意

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

- 本機をぶら下げたり、立てかけたり、セットアップガイドの「設置のしかた」以外の状態で使用しないでください。

注意

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

〔本機使用上のご注意〕

- ほこりの多い場所や、高温・多湿の場所では使用しないでください。
- 振動や衝撃が加わらないようにしてください。
- 異物や水が入らないよう注意してください。
- 必ず、指定した電源に接続してください。
- 動作中に本機を動かしたり持ち上げたりしないでください。
- 結露に注意してください。結露した場合は、1 ～ 2 時間程度放置してから使用してください。
- 内部点検や改造はおやめください。

⚠ 注意

- ご使用中に本機から異常な音やにおいがしたときは、必ず電源を切ってから、点検を受けてください。
- 本機の外観の清掃は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を水で 5 ～ 6 倍に薄め、柔らかい布を浸してよく絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコール、殺虫剤等の揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので、使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

〔AC アダプター使用上のご注意〕

- AC アダプターと接続した機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
- ご使用中に AC アダプターから異常な音やにおいがしたときは、必ず電源を切ってから、点検を受けてください。
- AC アダプターの外観の清掃は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を水で 5 ～ 6 倍に薄め、柔らかい布を浸してよく絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコール、殺虫剤等の揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので、使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- AC アダプターや電源プラグに異常があったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 電源コードは AC アダプターに根元まで確実に差しこんでください。

商標・登録商標

Microsoft、Windows 8、Windows 7、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Mac、Mac OS、Macintosh、iPad は米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

iOS は、US その他の国でシスコが商標権を有する商標です。

iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

"Blu-ray"、"Blu-ray Disc"、"Blu-ray 3D"、"Blu-ray 3D" ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。

ソフトウェアのライセンスに関するお知らせ

ここでは､本機に使われているソフトウェアの利用許諾(ライセンス)について記載しています。正確な内容を保持するために、原文（英語）を記載しています。

❖ thttpd 2.25b

Copyright © 1995, 1998, 1999, 2000, 2001 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE MPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
Some parts of the thttpd-2.25b are provided with the following copyright notices with license noted above.
Copyright © 1999, 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1999 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1995, 1998 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1995, 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1995 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1998, 2001 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1998 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1995, 1998, 1999, 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1995, 1998, 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Copyright © 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
Some parts of the thttpd-2.25b are provided with the following copyright notices with license noted above.
Copyright (c) 1988 Regents of the University of California. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED " AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

❖ iperf v2.0.4

Copyright (c) 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois
All Rights Reserved.

Iperf performance test
Mark Gates
Ajay Tirumala
Jim Ferguson
Jon Dugan
Feng Qin
Kevin Gibbs
John Estabrook
National Laboratory for Applied Network Research
National Center for Supercomputing Applications
University of Illinois at Urbana-Champaign
http://www.ncsa.uiuc.edu

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (Iperf) and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

❖ GNU General Public License and GNU Lesser General Public License

This product includes the following software licensed for use under the terms of GNU General Public License v2, GNU Lesser General Public License v2.1.

- linux kernel 2.6.28. Copyright (C) 1991 Linus Torvalds. Licensed under GPLv2
- BusyBox v1.16.2 multi-call binary. Copyright (C) 1998-2009 Erik Andersen, Rob Landley, Denys Vlasenko and others. Licensed under GPLv2
- Squashfs v3.4 Copyright: (C) 2002-2009 Phillip Lougher Licensed under GPLv2
- u-boot 2009.01-rc1 Wolfgang Denk and others. Licensed under GPLv2
- glibc 2.5 Copyright (C) 1992-2006, 2007 Free Software Foundation, Inc. Licensed under LGPL v2.1.

You can get corresponding open source code from the following URL.
http://www.oss-pioneer.com/it/blu-ray
Please refer to the following URL for further information of GNU General Public License Version 2.
http://www.gnu.org/licenses/gpl-2.0.html
Please refer to the following URL for further information of GNU Library General Public License Version 2.1.
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991
Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.
When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.
For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.
Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.
Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)
The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6 Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.
To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.
<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.
Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.
The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice
This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLICLICENSE

Version 2.1, February 1999
Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.
[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.
This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.
When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.
For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.
Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.
Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.
When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.
We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.
For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.
In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.
Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) The modified work must itself be a software library.
b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.
4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.
When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.
If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.
7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).
To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!

保証とアフターサービスについて

保証書について

保証書は、必ず｢取扱店名 ・ 購入日｣等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

● **保証期間について**
保証期間は、取扱説明書の注意に従った使用で、ご購入日より 1 年間です。

● **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

● **故障、故障の修理その他に伴う営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、次の要領で修理を依頼してください。

● **保証期間中は**
万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。
お買い上げの販売店または弊社修理窓口にご相談ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- 電話番号
- 製品名**ワイヤレスユニット**
- 型番 APS-WF02JBK、APS-WF02JP、APS-WF02JBL、APS-WF02JBR
- ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- ご使用のコンピューター本体

● **保証期間が過ぎているときは**
お買い上げの販売店または弊社修理窓口にご相談ください。
修理可能な製品については、ご希望により有料で修理いたします。

＊お客様から提供いただいた情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動に利用させていただく場合がありますのでご了承ください。

＜無料修理規定＞

1. 保証期間内に取扱説明書、本体注意ラベル等の指示に従った使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または弊社が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または弊社サービス拠点へご依頼ください。その際には本書をご提示ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障および損傷
(ニ) 消耗品 (各部ゴム等) の交換
(ホ) 保証書の提示がない場合
(ヘ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
(ト) 故障の原因が本機以外の他社製品にある場合
(チ) 劣悪な設置条件 (油煙、熱、塵、水、直射日光等) で使用し故障した場合
(リ) 出張修理をご希望された場合の出張費用、引取修理をご希望の場合の引取・お届けの配送費用
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
6. その他
故障その他による営業上の機会損失 (逸失利益) は保証いたしませんので、ご了承ください。

＊お客様にご記入いただいた保証書、保証期間内のサービス活動およびそのあとの安全点検活動のために記載内容を利用させていただくこと場合がございますので、ご了承ください。

＊この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

保証書

持込修理

<table>
<tr><td colspan="2">機種
APS-WF02JBK、APS-WF02JP、
APS-WF02JBL、APS-WF02JBR</td><td>製造番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td colspan="2">お名前</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所 〒

電話番号 (　　　)</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買い上げ日</td><td rowspan="4">取扱販売店名・住所・電話番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間(お買い上げ日より)</td></tr>
<tr><td>本　体</td><td>1 年</td></tr>
</table>

SAMPLE

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店または弊社サービス拠点へ修理をご依頼ください。

● **販売店様へ**
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のＩＰ電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・ＩＰ電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内　※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター(全国共通フリーコール)
受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00
（日曜・祝日・弊社休業日は除く）
■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120−944−222　一般電話 044−572−8102
■ファックス　044−572−8103
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理窓口のご案内　※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、セットアップガイドの『トラブルと対策』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口
受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00
（日曜・祝日・弊社休業日は除く）
■電話　0120−5−81028　一般電話 044−572−8100
■ファックス　0120−5−81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/purpose/repair/
※インターネットによる修理のお申し込みを受付けております

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター
受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00
（日曜・祝日・弊社休業日は除く）
■電話　0120−5−81095　一般電話 044−572−8107
■ファックス　0120−5−81096

サービス拠点のご案内　※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

札幌サービスステーション	FAX 011-812-5192	〒003-0803	札幌市白石区菊水3 条4丁目2番7号 樋口ビル
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1

●東北地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆東北サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3112	仙台市泉区八乙女2-11-10
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX 019-656-7648	〒020-0108	盛岡市東黒石野２丁目2-２0
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10

●関東・甲信越地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆, ★拠点は、土曜も受付　☆9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）
★9:30～17:00（弊社休業日は除く）

☆関東サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
★世田谷サービスステーション	FAX 03-5357-0770	〒156-0055	世田谷区船橋5-28-6　吉崎ビル1F
★千葉サービスステーション	FAX 047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
★埼玉サービスステーション	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0911	宇都宮市問屋町3172-1　組合会館内
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX 025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0851	松本市島内4649-5　スカイビューマンション1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
静岡サービス認定店	FAX 054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松2丁目5-11
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
金沢サービス認定店	FAX 076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX 06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX 078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX 075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX 0742-50-0889	〒630-8141	奈良市南京終町1-174-2

●中国・四国地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX 082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX 086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40 （有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX 0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX 087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX 088-678-8203	〒770-8075	徳島市八万町千鳥61-5
高知サービス認定店	FAX 088-855-8431	〒780-0071	高知市高そね7-24
松山サービス認定店	FAX 089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX 092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-1-9　ヤマエ博多駅南ビル1F
北九州サービス認定店	FAX 093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
西九州サービス認定店	FAX 0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒861-2118	熊本市東区花立4-9-31
大分サービス認定店	FAX 097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX 099-201-3803	〒890-0034	鹿児島市田上6丁目29-55

●沖縄県　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービス認定店	FAX 098-987-1121	〒902-0073	那覇市上間413　琉電アパート1-5

平成26年9月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のIT機器の点検を!

このような症状はありませんか	・ACアダプターが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026*_A1_Ja

〒 212 − 0031
神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号
パイオニア株式会社

ⓒ 2014 パイオニア株式会社　禁無断転載